

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用口					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	「理想の自分、なりたい自分」と価値観					
【前期】 9～13回目	ビジョン・ゴール					
【前期】 14～19回目	感情のコントロール					
【後期】 20～24回目	思考のルール					
【後期】 25～27回目	リーダーシップ					
【後期】 28～33回目	チームビルディングとフォローアップ					
【後期】 34～37回目	物事のとらえ方(パラダイムシフト)					
【後期】 38回目	コミュニケーション力					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Eメールの使い方/Eメールのアドレス帳の活用 言葉による状況説明①(時系列) 就職活動セミナー①					
【前期】 6～10回目	言葉による状況説明②(情報の整理)/言葉による状況説明③(話の要約)/言葉による状況説明④(主観と客観) 文章の書き方①(話し言葉、書き言葉)/文章の書き方②(5W1Hの活用)					
【前期】 11～15回目	ビジネスメールの書き方 就職活動セミナー② ビジネス文書①(文書の種類)/ビジネス文書②(社内文書)					
【前期】 16～19回目	ビジネス文書③(社外文書)/ビジネス文書④(社交文書) コミュニケーション論(概論)/非言語コミュニケーション/表情とコミュニケーション					
【後期】 20～24回目	就職活動セミナー③ 距離によるコミュニケーション/言語コミュニケーション/説得的コミュニケーション					
【後期】 25～29回目	敬語①(敬語の分類)/敬語②(尊敬語)/敬語③(謙譲語)/敬語④(間違いやすい敬語)/敬語⑤(仕事でよく使われる敬語)					
【後期】 30～34回目	就職活動セミナー④ 履歴書の書き方①(基本データ)/履歴書の書き方②(自己PR)/履歴書の書き方③(志望動機)					
【後期】 35～38回目	【心理学講座】 自分を知る/社会からの影響/他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC基礎		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PC基礎	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	大学にてジャズギターを学んだ後、卒業後はCM作曲家として活動を始め、現在に至るまで作曲や、楽曲のプレゼン、楽曲とコンテンツ(画像・動画等)を合わせた納品等を行う。					
授業概要						
Macを使用したPCの基本的な操作方法、一般社会で必要とされる代表的なアプリケーションの操作方法について学ぶ。						
到達目標						
Macの基本的な使用方法の修得。Word、Excel、Illustrator、Photoshopの基本知識、技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	自己紹介・簡単なアンケート&テスト 人物紹介・Macの基本操作方法：・Macの基本用語・修飾キー/キーボード記号・ショートカットの説明					
【前期】 6～10回目	Word: 基本操作説明・タイピング練習・その他の機能説明・応用&課題					
【前期】 11～15回目	Excel: 基本操作説明・応用&課題					
【前期】 16～19回目	復習&テスト対策 前期試験					
【後期】 20～24回目	Illustrator: 基本操作説明・応用&課題					
【後期】 25～29回目	Illustrator: 応用&課題					
【後期】 30～34回目	Photoshop: 基本操作説明・応用&課題					
【後期】 35～38回目	復習&テスト対策 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタテインメント業界基礎講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタテインメント業界基礎講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。					
授業概要						
挨拶、敬語等の基本的なマナー、各種機材、エンタテインメント業界の知識、および音楽関連の知識の修得。						
到達目標						
社会人として必要なマナーの修得。自分が扱う機材についての知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	デジタルとは：二進数 デジタルの音声とは：音声データへの変換、標本化/量子化と補助単位/符号化とデータの量					
【前期】 6～10回目	空間系エフェクタ ディレイ：テープディレイ/アナログディレイ、デジタルディレイ/ディレイのパラメーターとかけ方 リバーブ：プレートリバーブ スプリングリバーブ/デジタルリバーブ、サンプリングリバーブ/リバーブのパラメータとかけ方					
【前期】 11～15回目	略譜面とは：略譜面の書き方/略譜面を作ってみる 歌詞カードとは：歌詞カードへの書き込み内容 歌のエディットについて：エディットの方法/フェードについて					
【前期】 16～19回目	EQとは：EQの仕組みとパラメータ/EQのかけた音とかけてない音/EQのかけた音とかけてない音の聞き比べ 前期試験					
【後期】 20～24回目	Clickとは：Clickの作り方の説明/作成の練習 パソコンのパーツについて：CPUとは/Memoryとは/Storageとは					
【後期】 25～29回目	MIDIについて：MIDIの説明/音源ソフトの立ち上げとMIDIの入力/MIDIを使ってドラム譜面を入力 録音のドキュメンタリーDVDの鑑賞：音楽で生活していくことの難しさ/作業内容、スタッフの動き					
【後期】 30～34回目	インサート・コンプレッサーについて：方法とかけ方/パラメーターとかけ方の例 インターフェース：スタジオのプロ用インターフェースの説明/インターフェースの種類と裏側					
【後期】 35～38回目	DSPの説明とHDXカード/USBコネクタの種類や速度 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	Pro Tools講座 I		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	Pro Tools講座 I		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。					
授業概要						
レコーディングスタジオで円滑にPro Toolsが操作できるよう学習する。						
到達目標						
Pro Tools、ミキシングの基礎技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Macを触ってみる：電源の入れ切り、ProToolsデータの取り扱い/音量感とは：フェーダーとメーターの役割 ドラムのパーツについて：各種パーツの名前と役割/ドラムの音量バランス：パン、各種パーツの音量感 リバーブを使うために：リバーブトラックの立ち上げ方/ディレイをかけてみる：ディレイの使い方の例					
【前期】 6～10回目	空間系とパン：左右の音の広がりについて考える/ProToolsで音データを見やすくする：様々な拡大縮小 ProToolsのモード：モードの役割と使い方 ドラムのエディット：アタック音とその見極め/グループを組む、フェードを掛けてみる					
【前期】 11～15回目	ProToolsのメモリーロケーション：メモリーロケーションで曲を把握しやすくする ボーカルのエディット：プレイリストを使ってボーカルテイクを完成させる/ショートカットを駆使してエディット速度を上げる/効率を目指して、操作を指に覚えさせる／Clickとは：Clickを作る					
【前期】 16～19回目	位置の指定やコピーアンドペースト：楽譜を参考にして、指定した場所に移動する方法 クリップゲイン：クリップゲインで歌の音量バランスを整えるデータの書き出し方/バウンスやトータル音圧の上げ方 前期試験					
【後期】 20～24回目	テレビサイズのエディット：テレビ番組で流してもらえる長さに曲を縮める/課題曲を縮めてみる テンポの変え方、ゼロ小節について：テンポや曲の始まりの位置を変える					
【後期】 25～29回目	メロダインについて：音程を直す方法/音程以外の直し方/各種Toolや音程や音長のグリッドや自動スナップ コンプレッサー：かけ方やトラックフリーズ、コミットの違い／トラックフォルダ：トラックフォルダとステムの作り方					
【後期】 30～34回目	VoSampleRecのミックス：自分の担当学生をSessionデータのImportで一つにする/ミックスをして書き出す オートメーションについて：使い方とかけ方の例/課題通りにオートメーションをかけてみる					
【後期】 35～38回目	バンドミックス：基本の音量バランス/自分なりの理想の音量バランス/他の曲と聞き比べてみる/書き出し～ミックス試聴会 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音楽理論		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	音楽理論	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース、音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学にてクラシックピアノを学んだ後、ピアニストとして活動を開始。クラシック・ポピュラーミュージック・ジャズ等、ジャンルにとらわれず様々なレコーディングやライブに携わり、海外での演奏も行うなど精力的に活動中。					
授業概要						
五線譜を用意し、自ら音符を書き込む。五線譜に書いた音符を手拍子等でリズムを表現する。						
到達目標						
音楽の構成を理論的に分析、把握する技術の修得。楽譜の読み書きが出来る。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	音に関する基礎知識 Notation・省略記号:楽譜に関する基礎知識/記譜法続き 音符、休符 etc./色々な音符の種類、連符、音符の省略					
【前期】 6～10回目	速度、強弱、奏法 etc.各記号について説明 省略記号、反復記号 etc. 各記号、Repeat mark、D.S. etc. 授業内容の復習:曲を聴いて拍子、小節数チェック etc.					
【前期】 11～15回目	Major scale: Ⅱ系 Major scale/ Ⅲ系 Major scale/全てのMajor scale の調号とKey etc./ Minor scale:Major scale との関係/全てのminor scale 復習/ すべてのscaleの練習問題と音程					
【前期】 16～19回目	音程について 前期試験					
【後期】 20～24回目	chord:Major / minor triad/Augmented / diminished triad/triadの復習/4和音/chordの転回					
【後期】 25～29回目	chordについて全体的な復習 Diatonic chord					
【後期】 30～34回目	minor Diatonic chord/Diatonic chord の代理 chord:今迄の復習、曲中でのchord etc.					
【後期】 35～38回目	Substitute chord:学生の様子、希望により授業内容決定 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音響基礎知識		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	音響基礎知識	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース、PAコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。					
授業概要						
レコーディング実習Ⅰ・PA実習Ⅰが実践中心の授業であるのに対して、本授業では、スタジオ内の機材ひとつひとつの名称や使用方法等、基礎知識を学ぶ。						
到達目標						
理論的な理解を深め、正しい機材取扱い方法の修得。物理学的な要素を学び、正しい音響機器の設置方法、音場整理の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	授業説明、最低限の英単語をチェック 基本用語/音の3要素:音の仕組み、音速、、音程(周波数)/音色/音量					
【前期】 6～10回目	マイクについて:マイクとは～ダイナミック、コンデンサー～リボン、チューブ/指向性、近接効果など 音声ケーブル:バランス、アンバランス/スピーカーケーブル、コネクタ					
【前期】 11～15回目	信号の流れ:Mixer、ブロックダイアグラム/マイクレベルとラインレベル/DI、インピーダンス、トランス					
【前期】 16～19回目	楽器の名称と略語/エフェクターについて/EQ:パラメトリック、グラフィック、Filter、パラメータ/GEQ31Band憶える 前期試験					
【後期】 20～24回目	Reverb:Revの種類、パラメータ/接続法(Sendを使って、PRE/POST) Delay:パラメータ、テンポディレイのタイム計算/ディレイの応用機、ハース効果					
【後期】 25～29回目	音響心理(ハース効果含む)/スケジュール調整予備/Compressor・Limiter・Expander・NoiseGaterの機能とパラメータ スピーカー:ユニット/エンクロージャー					
【後期】 30～34回目	マルチウェイ/マイクレベルとラインレベル Group:VCAグループ、サブグループ/オーケストラの楽器の並べ方					
【後期】 35～38回目	総復習 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング基礎Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	レコーディング基礎Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。					
授業概要						
レコーディング実習で学んだものを、1つ1つ時間をかけて反復練習をする。						
到達目標						
レコーディング技術の修得およびスピードアップ。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Voを録るまでロードマップと、レコーディングの歴史/スタジオの電源の入れ切りの練習 Voマイクのセッティング(セッティング練習とスタジオ見取り図)					
【前期】 6～10回目	BandRecでレコーディングの流れを知る/歌の録音や音程直す/マイクセッティング練習 回線のチェック方法とマイクの各種Switch/マイクレベルとラインレベル(音量の差、業務用カラオケマシンのつなぎ方)					
【前期】 11～15回目	VoRecについて(必要な道具やセッティングの確認)/VoRecをしてみる(講師が歌い、VoRecの流れをつかむ) VoRecをする前に(マイクの高さ、道具の使い方を説明する方法)/お互いにVoRecをしてみる					
【前期】 16～19回目	マルチマイクセッティング(セッティングの見本と注意事項)/ドラムのセッティング練習 前期試験					
【後期】 20～24回目	アンプのセッティング(BaとDIのセッティング、チューナーマイク/HeadAmpを出す方法出さない方法/) アンプのセッティング練習(DrとVoも含めてBandセッティング/マイクチェックの方法)					
【後期】 25～29回目	ドラムのマイキング/ドラムのサウンドチェック/パンチインの方法とプレイリスト 現代のVoRec(様々な機能を使った現代のレコーディングの工夫)/キードードとAGのセッティング					
【後期】 30～34回目	Bandレコーディング(セッティングから録音まで/歌やウワモノの録音と仮ミックス) フルバンドセッティング(ここまで学んだすべてのセッティングをする)					
【後期】 35～38回目	クラスバンドレック(ドラム、ベース、ギター、歌を録ってみる/エディットとミックスを行う) 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	レコーディング実習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。					
授業概要						
レコーディングにおける、プランニング、マイキング、楽器や歌の録り方、ミキシング、マスタリングと一連の流れを学ぶ。						
到達目標						
2年次の技術修得に向けて基礎的な技術力を身に付ける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	スタジオを知ろう:スタジオの使い方と注意電源入れ切り VoMicセッティングと道具:VoMicセッティングの説明と実演					
【前期】 6～10回目	1号館RecST:1号の電源入れ切り スタジオの名称役割、防音とは/信号の流れを学ぶ Voを録る準備:回線、CueBox、ドラテの書き方、マイクスタンド/マイクレベルとラインレベルとVo音量					
【前期】 11～15回目	Voを録る準備:講師が歌うのを録ってみる練習 VoRec:お互いに録り合う事で練習をする					
【前期】 16～19回目	複数のマイクの立て方と注意/ドラムのキック・スネア・ハイハット・タム・トップのマイキングと聞き比べ 前期試験					
【後期】 20～24回目	VoSampleRec:Vo系コースの歌を録音する					
【後期】 25～29回目	アンプのセッティング:DIを用いたAmpセッティング キーボードとアコギのセッティング:キーボードとアコギのセッティング					
【後期】 30～34回目	スタジオ大掃除:修理やメンテナンスが必要な場所を知る クラスバンドREC:ドラムベースの録音/ギターやキーボードの録音/歌の録音とミックス作業					
【後期】 35～38回目	クラスバンドREC:ドラムベースの録音/ギターやキーボードの録音/歌の録音とミックス作業 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	レコーディング実地演習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	レコーディングコース / PA&レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。						
授業計画・内容						
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント					
2回目	レコーディングスタジオ見学					
3回目	Inter BEE見学					
4～5回目	ゲスト講師によるレコーディングスタジオ実習					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						